

a heated battle on the ice
氷上の熱い戦い

Japan Wheelchair Curling Association 2021-2022



Let's

Wheelchair
Curling



大会や体験会など興味のある方は以下までお問い合わせください

一般社団法人 日本車いすカーリング協会

Tel : 090-9268-3148 E-mail : jwc@jwca-est-2017.org

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル4階(パラサポ内)



[公式サイト] <https://jwh-curling.org/> (下のXPANDコードよりリンク)



XPAND CODES Reader(無料)のダウンロードはこちらから



Winter Games & Paraspports
車いすカーリング



車いすカーリングとは？



◎ 競技のあらまし

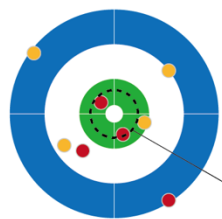
健常のカーリングと同じ会場と同じストーンを使用します。基本的な作戦の考え方や競技のための用語も同じです。

[カーリングと車いすカーリングのちがい]

- ◎ 車いすに乗り静止した状態から、手またはデリバリースティックを使ってデリバリーする
- ◎ デリバリーする時はチームメイトが後ろから支える(ミックスダブルス時はIPAも可)
- ◎ スウィーピングは禁止

◎ ミックス:男女混合4人制

- ◎ 男女混合の4名でプレー(チーム登録は5人まで)
- ◎ スキップが司令塔として指示を出す
- ◎ 1試合の持ち時間は各チーム38分
- ◎ 1人2投ずつ割り当てられたストーンを、4人の選手がポジション順に、相手チームと交互に1投ずつ投げる(合計で16投)
- ◎ すべて投げ終わった時、ハウスの中心に一番近いストーンのチームがそのエンドの勝ちとなり、ハウス上にある相手チームより内側にあるストーンの数 が得点となる
- ◎ 8エンドの合計得点で勝利チームが決まる



Team	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
Red	0	0	1	0	2	0	0	2	5
Yellow	1	0	0	1	0	1	1	0	4

赤2点

◎ 大会を支える人たち

ストーンのカリーニングやセッティングは、IPA(アイス・プレイヤー・アシスタント)が行います。

また、カーリングの得点の確認は、最後にハウスを管理していた選手によって行われますが、どちらが中心に近いかが決められないときは、審判が計測を行います。

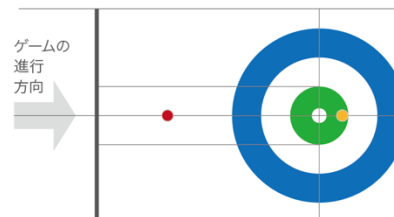


◎ ミックスダブルス:男女混合2人制

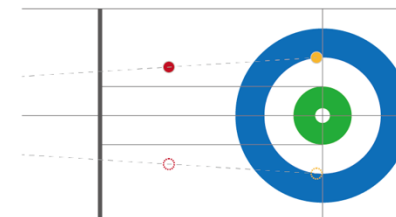
※2026年冬季パラリンピックで採用される予定

- ◎ 男女各1名で構成される
- ◎ 1試合の持ち時間は各チーム30分
- ◎ プレーエリア内に2つのストーンを配置してから、エンドが始まる(後攻での開始時、1試合に1回だけ、パワープレーを選択できる)
- ◎ ストーンは各チーム5投をデリバリーする
- ◎ 投げる順番は、1/5投目、2/3/4投目のいずれかとなり、エンドごとに変更できる
- ◎ すべてのストーンを投げ終わった時、ハウスの中心に一番近いストーンのチームが、そのエンドの勝ちとなり、ハウス上にある相手チームより内側にあるストーンの数 が得点となる
- ◎ 8エンドの合計得点で勝利チームが決まる

[基本的な配置]



[パワープレー] 左右どちらかを選択



◎ 障がいクラスについて

車いすカーリングは、下肢障がい対象の競技です。クラス分けは、筋力低下、他動関節可動域障がい、四肢欠損、筋緊張亢進、失調、アテトーゼのいずれかで、可動域やグレードなどの最小基準があります。チームの構成における調整はありません。

◎ 競技用具について

車いすカーリングで使用する車いすは、日常使っている車いすでもプレーすることができます。接触プレーなどが無いため、外的要因のための装備は不要で、競技者がプレーしやすい車いすを使います。デリバリースティックは、個人で所有し、ショットに合わせて長さや持ち手の位置などを調整しながら使います。ストップウォッチを使って、投げたストーンの色を計り、アイスコンディションやストーン軌道を読みます。

[参考]公益社団法人日本カーリング協会ウェブサイト、世界カーリング連盟ウェブサイト、第17回日本車いすカーリング選手権大会公式ウェブサイト